

令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【美園北小学校】

⑥ 次年度への課題と改善策	
知識・技能	全体的な課題もあるが、個人差も大きいことから個別に必要な支援を講じていく必要がある。ドリルを購入している学年は活用し、購入していない学年は、ドリルパークやスタディサプリ、それぞれのミニテストやプリント等個別に蓄積されたデータを効果的に活かしていきたい。
思考・判断・表現	「思考力・判断力・表現力」を育む指導方法の工夫改善として、自己の変容が自覚できる場面の設定や、2・3人組で話し合う活動、パワーポイントやCanva、kahoot、padlet等のデジタル上での協同作業を通した他者との交流を意識的に取り入れていくことを継続していきたい。
主体的に学習に取り組む態度	本校は、「自分の中の天使を育てる」という校長の方針が2年目となり、「自分を幸せにできるのは自分ある」という考えが学年を問わず定着しており、課題意識が高い。次年度もICT等を利用した個別最適化自立家庭学習を軸に、主体的に学習に取り組む態度を育てていきたい。

① 目 標・策			
目 標			策
知識・技能	前回実施のさいたま市学習状況調査の国語・算数の自校結果より、「知識・技能」において3pt向上させる。	⇒	低学年においてドリル教材を書くことによる基礎基本の徹底を図る。中学年はドリルとスタディサプリを併用し個別最適な学習への移行を図る。パワーアップタイムの時間を、週2回業前に設ける。
思考・判断・表現	前回実施のさいたま市学習状況調査の国語・算数の自校結果より、「思考・判断・表現」において3pt向上させる。	⇒	「問題解決的な学習」を徹底させるためにGIGAスクールにおけるアプリ(オクリンク、ムーブノート、スタディサプリなど)の効果的な使い方を学校課題研修の中で探りながら、「アクティブ・ラーニングの充実」を図る。
主体的に学習に取り組む態度	さいたま市学習状況調査「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目において、肯定的な回答の割合を80%以上にする。	⇒	学校課題研修を通して、ICTを活用した個別最適化・探究的な学びを実現する。高学年はスタディサプリ等を活用し、自律的な家庭学習を進め、中学校への接続を確実にする。

<小6・中3>(4月～5月)

⑤ 目 標・策の達成状況		評価(※)
知識・技能	R5年度さいたま市学習状況調査「知識・技能」において、R4年度調査より国語小3ー5pt、小4ー12pt、小5+3pt、小6ー5pt、算数小3+2pt、小4+4pt、小5+2pt、小6ー2ptであった。	C
思考・判断・表現	R5年度さいたま市学習状況調査「思考・判断・表現」において、R4年度調査より国語小3+1pt、小4ー4pt、小5+1pt、小6+9pt、算数小3ー4pt、小4ー6pt、小5+1pt、小6+1ptであった。	C
主体的に学習に取り組む態度	「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目において、肯定的な回答の割合は小5、小6共に91%を超え、目標を達成することができた。	A

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

② 全国学力・学習状況調査結果・分析	
知識・技能	R5年度全国学力・学習状況調査の「知識・技能」において、R4年度の自校の結果と比較し、国語±0pt、算数+1ptであった。各領域において日頃の成果として高い正答率が出ている。
思考・判断・表現	R5年度全国学力・学習状況調査の「思考・判断・表現」において、R4年度の自校の結果と比較し、国語+3pt、算数+1ptであった。国語の条件にしたがって文章を書く問題では、解答類型を見てみると、複数の条件が提示されている時に、その条件に即して解答ができていない児童が多かった。
主体的に学習に取り組む態度	R5年度全国学力・学習状況調査「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目の、肯定的な回答の割合は91%であった。引き続き、子どもが主体的に学習に取り組めるよう、働き掛けていく。

①結果分析(管理職・学年主任等)
②詳細分析(学年・教科担当)

④ さいたま市学習状況調査結果・分析			
小3	R5年度さいたま市学習状況調査「知識・技能」において、R4年度調査より国語ー5pt、算数+2ptであった。国語の主語と述語の関係と、登場人物の性格を想像して文章を読む問題において課題がみられた。教科への興味関心については、肯定的な回答の割合が国語で76%、算数で73%にとどまった。	小4	R5年度さいたま市学習状況調査「知識・技能」において、R4年度調査より国語ー12pt、算数+4ptであった。国語においては、主語と述語の関係に、算数では除法の計算に課題が見られた。教科への興味関心については、肯定的な回答の割合は国語が77%、算数が67%にとどまった。
小5	R5年度さいたま市学習状況調査「知識・技能」において、R4年度調査より国語+3pt、算数+2ptであった。算数では合同な図形をかくための構成要素の理解や、公約数を求める問題に、課題が見られた。教科への興味関心については、肯定的な回答の割合が国語で81%、算数で73%と昨年度に比べて向上した。	小6	R5年度さいたま市学習状況調査「知識・技能」において、R4年度調査より国語ー5pt、算数ー2ptであった。算数においては割合の問題に課題が見られた。教科への興味関心については、肯定的な回答の割合は国語も算数も69%と、昨年度に比べて向上した。

③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)			
目 標			策
知識・技能	変更なし	⇒	変更なし
思考・判断・表現	変更なし	⇒	変更なし
主体的に学習に取り組む態度	変更なし	⇒	変更なし